

名古屋丸の内ロータリークラブ Nagoya Marunouchi Rotary Club Weekly Report

例会会場：名古屋クレストンホテル
(TEL：052-264-8000)

例会曜日：木曜日 12時30分

クラブ会報広報委員長：山崎 彰子

HP：<http://nagoya-marunouchi-rc.org/>

2022-23 年度 R.I. テーマ
会長：ジェニファー E・ジョーンズ

Rotary



イマジン
ロータリー

承認
会長
幹事
事務局

1995.03.28

武山 卓史

加藤 豊

名古屋クレストンホテル

1007号

名古屋市中区栄 3-29-1

TEL 052-263-1324

FAX 052-263-0730

E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp

武山卓史会長 年度目標：「ロータリークラブは素晴らしい！」自分と周りが笑顔でつながるクラブを目指して

第1208回 例会 No 17 令和4年12月17日(土)

例会変更「クリスマス家族会」於：名古屋クレストンホテル

- ロータリーソング 「それこそロータリー」
- 出席報告 会員42名中24名出席
- 出席率 61.54% 出席計算人数39名
- ゲスト 青少年交換留学生
ヒルドゥル リネアー ロビーサ ウッコネンさん
ホストファミリー 久保原さんご家族 5名
高橋さんご家族 4名
向陽高校教師 中谷 遥 様
会員ご家族ご友人 28名

ニコBOX

●本日はクリスマス例会です。上半期最後の例会となります。新しい年を元氣にお迎えください。来年も、どうぞよろしくお願い致します。

武山、加藤、河原、藤田、今村、水野、山崎 松尾、田中、恵利、小原、西川、川原、佐久間、出口、磯部、矢野、安江、岩田、田島、立石、後藤、亀井、(敬称略)

堀江亮介さん 本日の司会、無事にお勤めできますように。

本日 合計 52,000 円

副会長 田島陽介さんの乾杯ご発声で クリスマス会スタート



乾杯！



お菓子のプレゼント



dela オンステージ



BINGO！



第1207回 例会	No.16 令和4年12月8日(木)
■ローリーソング	「我等の生業」「四つのテスト」
■出席報告	会員42名中18名出席
■出席率	46.15% 出席計算人39名
■スピーカー	Our House 代表理事 後藤ゆり様
■ゲスト	

会長挨拶

武山卓史

皆さんこんにちは。

僕の挨拶に入る前にご報告です。

元会員で石井光さんのお母さん、石井里恵子さんが12月6日にお亡くなりになりました。黙祷を捧げたいと思います。

石井さんといえば、とてもお金持ちでイギリスへのファーストクラスで隣にオノ・ヨーコが座っていたという話をされました。そういう石井さんが、沖縄へマイルで行ってポイントを貯めるという、とても庶民的な話をされていました。お話も面白くて、うちの妻も大ファンでしたので非常に寂しいと思います。

今日は保護犬・保護猫の活動をされている後藤ゆりさんの卓話がございます。

犬といえば、僕は子供の頃、ペットが飼いたかったのですが、厳しい父親が反対し、姉と泣いていたのを覚えています。それからあまり興味がなくなりました。

僕の義理の姉が飼っていた犬が家に居着いてしまって、子供達と一緒に可愛がっていましたが、初めのころは、僕は本当はあまり好ましく思っていなくて、自分の部屋に犬がバタバタと入ってきたり、子供が小さい時は、僕のペットに犬を放り投げると言うことがあって、憂鬱でした。しかし年月が経つと愛着が湧くもので、15歳を過ぎてよぼよぼで最期は寝たきりでした。

犬は成長が早い分、衰えるのも本当に早いなと思います。先週木曜日ごろから、ご飯も食べなくて、水しか飲まなくなって、「年が越せるかな」と心配でした。

ワールドカップの日本対スペイン戦のあった日、珍しく家族4人で揃ってテレビを見ていた横に一緒にいて「久しぶりにみんな集まったね」と言っていました。妻がずっと犬の介護をしていたのですが、テレビを見ながら15分位で寝てしまった。そしたらその間にずっと死んでいたんです、もう動かなかった。

犬や猫が飼い主に死に目を見せたくないと言いますが、人間が後から悔いが残らないようにとってつけたような話だと僕は思います。

何かのきっかけで我が家に来ただけの犬ですが、これだけの長い年月が経つと家族になるのかと、ただ寂しく思っています。我が家では、特に下の子と妻はペットロスです。

それをSNSに上げたら、アメリカ人の友達とカナダ人の友達からすぐにメッセージがありました。外国の方は、僕ら日本人以上にペットに対して家族と思っているのか、まるで親が亡くなったかのようにお悔やみ申し上げますと言うコメントが来ました。国によってペットの扱いが違うのだと思った出来事でした。

ニコBOX

●本日は外部卓話です。
アワーハウス代表理事の後藤ゆりさんにお越しいただきました。保護権・保護猫の現状についてお話をさせていただきます。会員一同歓迎いたします。

武山、加藤、水野、山崎 松尾、長谷川、森田、田中、小原、黒田、西川、堀江亮介、(敬称略)

磯部さん 亀井さんの中日新聞の記事を拝見しました。ぜひ、職場見学をしたいです。

成田さん 15年間ほんのわずかですが、社会貢献が出来たことに感謝です。

藤田さん 本日、社用のため早退させていただきます。

田島さん 石井里恵子さんの訃報に驚きました。カンボジアにご一緒したことを思い出します。

川原さん 医者を選ぶも、寿命の一つ

安江さん 素敵な誕生日のお花をありがとうございます。

●秋のニコニコ感謝 DAY 山崎さん 1名

本日 合計41,000 円

出席表彰

25ヶ年 森田正樹さん、長谷川龍伸さんに記念品を

15ヶ年 成田勝彦さん、田島陽介さんに記念品を、

5ヶ年 堀江亮介さんにルビー入り会員章を、

それぞれ武山会長より贈呈いたしました。

《25ヶ年 森田正樹さん》



《25ヶ年 長谷川龍伸さん》



《15ヶ年 成田勝彦さん》



《15ヶ年 田島陽介さん》



《5ヶ年 堀江亮介さん》



外部卓話

保護犬・保護猫の現状について

～少しでも多くの小さな命を救いたい～ 後藤ゆり

特定非営利活動法人

OUR HOUSE

本日お邪魔いたしましたのは、皆さまに今の保護犬・保護猫の現状をわかっていただきたいのです。ペットブームで、月々10,000 円位のローンで犬を飼うことができますので、皆さん犬を飼われました。ところがしつけができなくて、私たちのようなシェルターに逆に山のように来ています。トイレのしつけができない・1 日中鳴いている・噛む

大体この3つがシェルターに入ってくる子です。

値段を見ると、70 万、80 万した犬ですがシェルターに来ています。フレンチブルドックや、ノルエージャンという猫が来ています。かわいいからと言う理由で飼う、コロナで暇だから飼うのですが、今は、お仕事が始まり、邪魔になっているんです。それで捨てるという方ばかりです。国からは何も援助がありません。すべてボランティアだけで賄っているというのが現状です。月齢も行っていないフレンチブルドックが捨てられたり、買えば何10 万もするようなゴールデンレトリバーがいるのですが、この子は買ってみたものの尿漏れが止まらない。家中がおしっこだらけになってしまうということでシェルターで引き取りました。この猫もブランド猫です。ところがギャーギャー鳴くと言うことで捨てられました。

そういう子ばかりがシェルターの中に山のようにいます。

私たちの取り組みの中で、ご高齢の方が家にずっといても、つまらないので、犬を抱っこしたり、話しかけたりというようなふれあいの場を作っています。瑞穂区雁道で無料のティールームを開き、お一人40 分と決めて、お茶を飲んで犬を抱っこ

してもらおうと言うことをやっています。

私たちはリースドッグ、リースキャットをやっています。

保護団体としては、60 歳以上の方に犬、猫は渡せない決まりになっています。でも、今の60 歳以上はとても若いのです。月々少しお金を出していただいて、獣医さんと私たちが回って犬、猫をお貸ししています。これはロングの預かりをお願いしていますが、80 歳90 歳になったらお返しいただくと言うのをやっています。大体皆さん3 年位で施設にはいられる方が多いので、そうしたら、シェルターで1 年半から2 年で生活をリセットします。そして若かったら新しいお家に行きますし、もうちょっと無理かなという子は私たちが看とりをするというシステムでやっています。このシステムは、北海道では猫でやっています。名古屋、大阪、静岡では、リースはやっていません。子犬からではしつけが大変。飼ってはみたものの、やっぱり無理だったわと言うことがわかるだけでも、今の時代にとって大事なかなと思います。猫は家に着いて、犬は人に着くという、ことわざがありまして、下手に猫をフリーにするといなくなりますのでサークルで飼ってもらっています。

リースという言葉が悪くて、とっつきにくいようで、なかなかお申し込みはありません。ただケアマネージャーさんやヘルパーさんを経由してのお申し込みはあります。ご連絡をいただいて、犬・猫を連れていきます。それと、私たちが1 カ月に1 回お邪魔させていただきながら、お話を聞いて、犬や猫の様子を見ながら進めていくという取り組みです。そうすると保護犬保護猫もいなくなるのです。とても良いことと思ってやらせていただいています。

私たちが今やっている取り組みですが、災害救助犬を育てています。もちろん、グループの中には災害救助犬と補助犬の訓練士がいます。



大型犬が瓦礫の上に乗ってしまうと、瓦礫の下の人が死んでしまうのです。それで中型犬小型犬を使って人を探すという取り組みをしています。しかし国からの補助はなく、全部私たちの持ち出しです。

これは熱海で起きた災害のうちの犬たちの活動の様子です。このなかから探し出すということです。犬たちの集中力は20 分ほどです。20 分働かせたら1 時間休ませます。そしてまた20 分働く。その間に違う犬を使っていくのですが、多いときには、1 日12、3 人の命を助けました。災害犬が必要なのですが、日本では全然足りていません。カナダとか、ヨーロッパの方から災害救助犬がボランティアで入ってくると言うのが日本の実情です。日本の頭数はとても少ないです。人間も行けず、犬しか登れないようなところで、人を探し出してもらおう。とても

過酷な仕事を犬たちはしています。ドロドロになってやっています。次にどこで災害があるか分からないので、災害救助犬は作っておかなければいけないのですが、皆さん災害にならないと救助犬の事はお忘れです。

一年に2回、資格を取らなければ、現場に入れないのですが。ダルメシアンと言うのは細くて敏捷です。どんな細いところでも入っていくので、ダルメシアンを2頭災害救助犬として訓練しています。



携帯電話がどこへ行ったか分からないと言う時はありませんか？ご高齢になるとどこ探してもないとか。うちの母は、音を消しているの、どこへ行ったか全くわからなくなります。また、自分の靴下が脱げないと言う方が高齢者の中にたくさんいます。電気の照明が消せない方、そういった方のための**介助犬**というのを、アワーハウスでは作っています。音がならない携帯電話もさがします。犬は金属が苦手、金属を咥えることを拒否するので、とつての部分分を分厚くして、その部分を咥えるという訓練をしています。靴下も足首から上手に脱がせます。今腰痛等で腰を曲げることができない方が増えています。そういう方のために靴下を脱がすとか、ドアを開けたり閉めたりとか、補助犬を作って施設に贈るということをしています。こちらでも国からは何の助成金補助金も出ません。すべて、私たちの持ち出しと言うことになります。今日はお金持ちの方ばかりの集まりと伺いましたので、こちらは税金で落ちますので、少しご寄付いただければと思います。



ファシリティードックと言うのは、

オーストラリアからハワイで1年位訓練した犬を日本に連れてきて、小児がんの子、外には一切出られない子、24時間点滴をして身動きが取れないと言う子のために、毎日毎日訪問をして、いつ退院できるかわからない、一生退院できないかもしれない、そういう子たちが薬を飲むときに「がんばれ」と言う合図を送ったりする犬です。こちらでも国から補助がない現状です。日本では、まだこのシステムがなく。オーストラリアである程度選んで、ハワイで訓練をして、ハワイへ看護師さんが飛んで、さらに訓練を受けて日本の小児科専門の病院へ派遣されます。この犬たちはとても神経を使うので短命です。

大型犬は、10年が寿命ですが、この子たちは7歳位で盲導犬も同じですが、卒業ということになります。この子たちの次の犬を育成していかなければいけないのですが、こういう犬を作る費用も、病院の費用に入ってしまう。国からは何も出ていない。



それからもう一つ、犬の取り組みと一緒にやっているのが、恵那市大井町というところに**ドッグラン**を作っております。高齢者の方にたまには土いじりをしてもらおうと。トマトやきゅうりを育てたり、うまくいったら、ぶどうを作ってぶどう酒を作るというような取り組みを始めました。これもまだワインまではいかないのですが、とても大きなドッグランで犬を放し飼いにし、その隣に獣医がありまして、そこでもし何かがあった時は見てもらえますし、近くに銀の森という観光地もあります。近くにかんぽの宿があり、ここでお風呂に入って、泊まっている間に私どものこの施設で、犬を預かるという構想を始めて半分位進んでいます。このことに興味のある方がいらっしゃいましたらぜひお声掛けいただけるとありがたいと思います。恵那市の市議員や役所の方も一緒になって、この取り組みを始めました。恵那川上屋も50メートル位近くのところにあります。災害救助犬や介助犬は全部持ち出しなので、訓練士さんもとても大変です。

熱海には、救助犬を10匹連れて行きました。でも犬は20分しか使えないので、回して回して、犬を使っていく方法ですが、犬が資格を取るまでにお金がかかります。

愛知県警の話をする、昔は警察犬は小さい時から警察が飼って訓練士につけて、大きくして警察犬にしたのですが、今はそこまでのコストがかけられないと言うことで、7ヶ月8ヶ月で資格を取った犬を愛知県警は70万円位で買っています。警察で子犬を育てると言うのは、給料が無駄だと、訓練士から中途半端に大きくなって、7ヶ月ぐらいになると、性格も出てくるので、そういう子たちを買って警察犬にするという位、コスト削減でやっているの、できれば、こういうところにも目を向けていただきたいです。

犬は暑さに弱いので、エアコンをかけて狭いところで育てている。それが今の救助犬の現状です。

保護犬も、ものすごくたくさん余っています。猟犬が山に捨てられたり、イノシシの罠にハマったりしています。ケガした足を切って里親さんを探したり、一生面倒見なければというシェルターが山のようにあります。ペットブームの反面、犬たちにとっては残酷な日々が続いています。その辺もお分かりいただけるとありがたいと思います。ナゴヤドームで70万円、80万円で取引されるプードルはたくさんいます。反面、ブリーダーさんの金網のサークルに入れられて、死ぬのを待っている犬もたくさんいます。そういったところにも目を向けてご寄付いただけるとありがたいと思います。